

健康課題に基づく 2024 年度の健康経営目標とその成果

扇精光グループでは、社員の健康課題として、生活習慣病リスクの低減を重要なテーマと位置づけています。特にメタボリックシンドローム該当率の高さや、健康行動の定着に課題があることを認識しており、社員一人ひとりが自律的に健康づくりに取り組める環境の整備が必要であると考えています。この課題に対し、2024 年度は以下の数値目標を設定し、取り組みを進めました。

1. 2024 年度の健康経営目標

① 「メタボリックシンドローム該当率：17%以下への低減」

なお、メタボリックシンドローム該当率については、2024 年度は 17%以下を目標として取り組みましたが、達成状況や改善傾向を踏まえ、現実的かつ段階的な改善を目指して 2025 年度は 20%以下へと目標を見直しています。

また、生活習慣病リスクの低減には、健康行動の実践と定着を支える職場環境の整備が不可欠であると考え、以下の 2 項目も健康経営目標として設定しました。

② 「有給休暇の取得促進によるワーク・ライフ・バランスの向上（8 日以上）」

→ 健康行動の実践を支える職場環境の整備

③ 「個人の健康目標達成に向けた健康づくりの実践」

→社員の自律的な行動変容を促進

これら 3 つの目標は、相互に関連しており、社員の心身の健康保持と企業の持続的成長を支えるために必要な、健康経営の重点的な取り組みとして位置づけています。

2. 2024 年度の成果

① メタボリックシンドローム該当率：17%以下への低減

長期的に見れば低下傾向にあるものの、各社とも目標には届いていない状況であり、生活習慣の改善に向けた継続的な取り組みが必要です。

2023 年の実績 ※2024 年度分は 8 月以降にデータが提供される予定

	コンサルタンツ	ソリューションズ	ホールディングス
該当率	23.4%	22.2%	23.5%

参考：過去 5 年間の実績

	2018	2019	2020	2021	2022
コンサルタンツ	29.2%	25.4%	26.0%	22.7%	29.3%
ソリューションズ	27.5%	30.5%	25.0%	25.4%	24.1%
ホールディングス	—	40.0%	12.5%	22.2%	26.7%

② 有給休暇の取得促進によるワーク・ライフ・バランスの向上（8 日以上）

昨年度と比較して、8 日以上取得した社員の割合は減少したものの、平均取得日数はグループ 3 社とも 10 日以上を達成しており、一定の改善が見られました。

2024 年度の実績

	コンサルタンツ	ソリューションズ	ホールディングス
平均取得日数	10.9 日	10.7 日	13.4 日
8 日以上取得の割合	57.0%	63.6%	76.2%

参考：2023 年度の実績

	コンサルタンツ	ソリューションズ	ホールディングス
平均取得日数	11.7 日	11.6 日	11.6 日
8 日以上取得の割合	64.1%	71.8%	81.0%

参考：2022 年度の実績

	コンサルタンツ	ソリューションズ	ホールディングス
平均取得日数	9.9 日	9.3 日	9.7 日
8 日以上取得の割合	58.9%	52.3%	42.9%

③ 個人の健康目標達成に向けて一人ひとりが健康づくりに取り組む

各自の生活スタイルや健康状態に合わせた目標や方法で、継続的に取り組んでいる社員が多く見受けられました。11 月以降は繁忙期による実施率の低下は見られたものの、年間を通じて多くの社員が継続的に取り組み、健康意識の定着が確認されました。

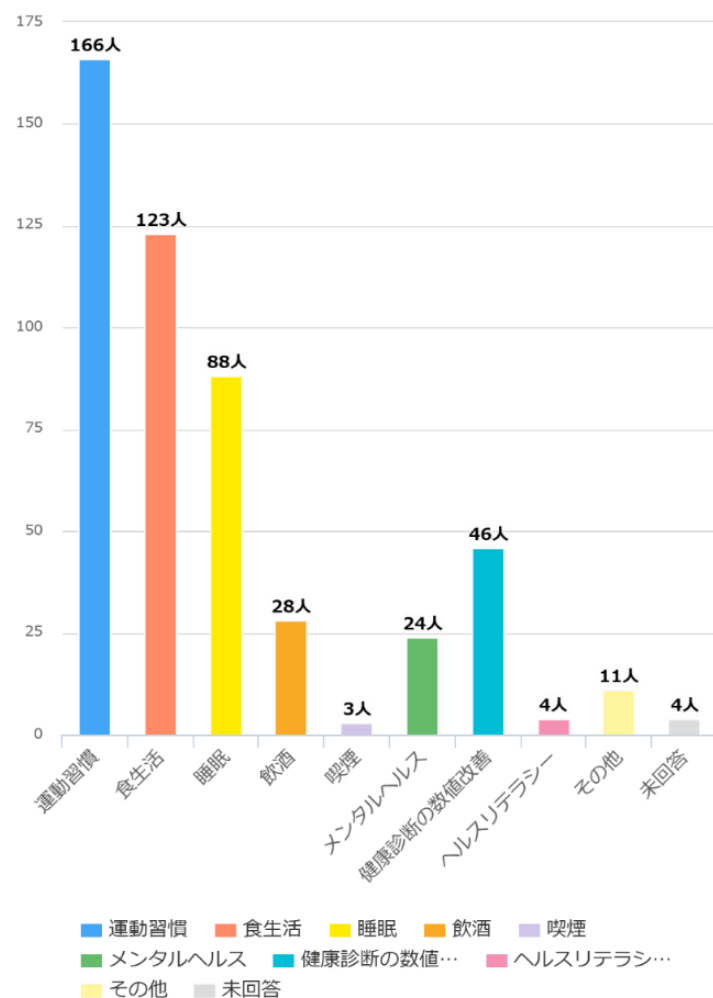
2024 年度の実績

	コンサルタンツ	ソリューションズ	ホールディングス
実施率	72%	68%	63%

参考：2024 年 10 月時点の実績

	コンサルタンツ	ソリューションズ	ホールディングス
実施率	79%	85%	84%

健康目標の項目内訳（グループ全体）



3. 今後の方針

2025 年度も、2024 年度と同様に 3 項目を健康経営目標として継続します。生活習慣病リスクの低減、健康行動の定着、ワーク・ライフ・バランスの充実は、当社における重要な健康課題であり、今後も継続して取り組みを推進してまいります。